



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 6月21日

日本鉄道労働組合連合会

## 貨物鉄産労2022夏季手当交渉妥結

貨物鉄産労は6月17日の団体交渉で、会社から夏季手当について以下の回答を受けた。

会社は「経済では一部持ち直しの動きが見られるものの、未だコロナ禍による影響も残り、紙・パルプ、自動車部品等が低調に推移している。また、2021年12月28日に山陽線瀬野駅～八本松駅間において脱線事故を発生させてしまい、お客様をはじめ関係する方々に多大なご迷惑をおかけしてしまったこと、さらには、2022年1月以降の北日本地区を中心とした大雪や福島県沖を震源とする最大震度6強の地震等の相次ぐ自然災害により、2022年3月期決算で経常利益（単体）△12億円と昨年を下回る結果となった。2022年度においても現時点でコンテナ収入対計画91%と低調である」と厳しい経営状況を主張しつつも、「これまでの社員の努力に感謝するとともに、今後も全社一丸となって『JR貨物グループ中期経営計画2023』の達成にむけて奮起していきたい」との姿勢を示した。

回答を受けて貨物鉄産労は、「会社の厳しい経営状況に理解を示しつつも、『JR貨物グループ中期経営計画2023』の達成にむけては組合員の協力が不可欠であり、これまで以上に労使が一体となって取り組んでいかなければならない」と主張するとともに、「プロフェッショナル群の労働条件改善」「女性が働きやすい職場環境の構築」について強く訴えた。

「会社からの回答は要求と乖離があり、到底納得できるものではない」としながらも、厳しい経営状況の中、これ以上の前進は困難と判断し、席上妥結した。

**夏季手当 1.72ヵ月**